

# 例会作品は「バティニョールおじさん」

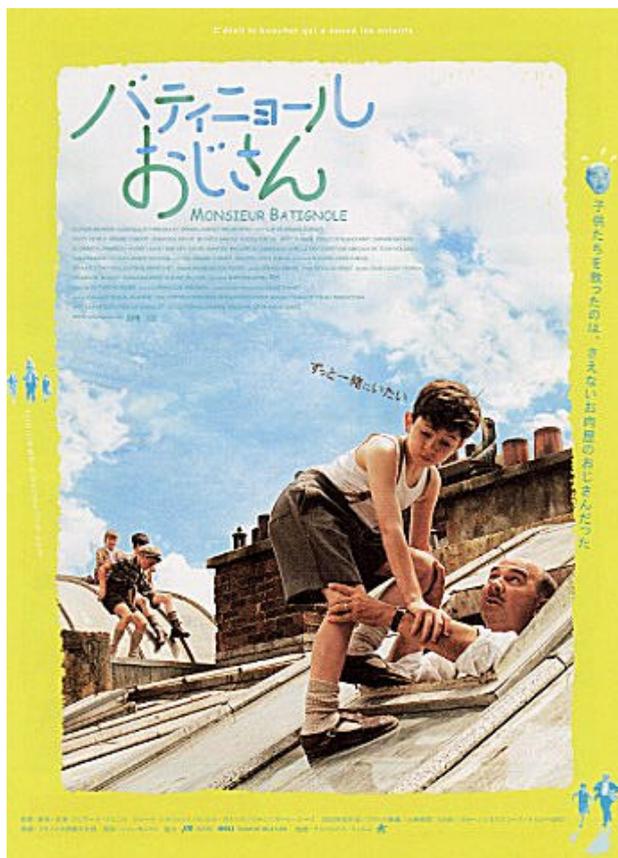
## 3周年記念上映会「父と暮せば」無事終了

暑い夏がやってきました。夏休みを前に、「宇宙戦争」や「スターウォーズ」など、SF超大作の話題も盛り上がっています。

また、東京を中心に大阪や神戸など都市部のミニシアターでは、韓国映画祭が行われたり、若手監督の日本映画も上映されているようです。

最近、運営委員会へ顔を出す人の中でも、遠くの映画館で上映している作品の情報が減ってきています。おかげで、例会作品を決めるにあたって、「観たい」というだけで、観ていない作品を薦めるわけにもいかないということで、作品を選ぶのに少し困っています。会員の皆さんの中で、この近くの映画館で観ることのできないようなオススメ映画があれば、是非、推薦ください。

### 次回例会



名称 / 第19回例会「バティニョールおじさん」

日時 / 2005年7月14日(木) PM2:00~、PM4:20~、PM6:40~

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR東加古川駅から北へ徒歩15分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

### 【例会作品データ】

タイトル / バティニョールおじさん

監督・脚本・出演 / ジェラルール・ジュニョー

出演 / ジュール・シトリユク、ミシェル・ガルシア、ジャン＝ポール・ルーヴ、アレクシア・ポルタル

データ / 2002年、フランス、カラー、1時間43分、35mm、ドラマ/ヒューマン、コメディ

セザール賞 2002年有望若手男優賞 / ジャン＝ポール・ルーヴ

### ストーリー

ナチス占領下のフランスを舞台に、ふとしたことからユダヤ人の子供たちを<sup>かくま</sup>うことになった主人公が、やがて彼らの逃亡を手助けするために決死の選択をする姿を描く感動のドラマ。周囲に流されるままだった平凡な中年男が否応もなく戦争の不合理に直面して、自らの尊厳を取り戻していく過程をコミカルな要素を織り込み、暖かな眼差しで見つめる。監督・主演は「タンデム」「パリの天使たち」のジェラルール・ジュニョー。

### 会員おススメコメント

高畑勲監督と雑談をしていた時に、「いい映画ですよ」と聞いて、ビデオで見ました。肉屋の一見さえない男が主人公ですが、そのさえない(普通さ)がいい。普通のおじさんが、知り合ってしまったユダヤ人の子どもたちを救う覚悟を固めていく、その過程の「普通」さが、この映画のポイントでしょうか。後半の、スイス国境を越えるまでのハラハラドキドキも、緊張感と滑稽さがあって、最後まで、飽きさせません。主役のおじさんは、フランスの人気喜劇俳優だそうです。(健)

## 前回例会の報告

5月10日の例会は、伝説の革命家チェ・ゲバラの無鉄砲で情熱的な青春の日々を、名匠ウォルター・サレスが描いたロードムービーの傑作「モーターサイクル・ダイアリーズ」を鑑賞しました。ヒーローの青春映画と思ったら、ふつうの若者が、旅や社会の中で、素直に成長していく、じわじわとしたカッコよさがありました。まさに、観て良かったと思う作品の一つでした。参加会員141人。

## 3周年記念上映会などの報告

加古川シネマクラブ3周年記念事業として、5月21日(土)に、加古川市民会館中ホールで「父と暮せば」の上映会を行いました。約600人に来場いただき、市内で一番良い会場で、多くの方に映画の良さを感じとっていただけました。

詳細な集計はまだ終わっていませんが、心配していた収支も、ほぼ均衡がとれたようですので、今後の会の運営にも影響はありませんのでご安心ください。

3周年記念上映会のために集まっていた実行委員の皆さんをはじめ、この事業に協力いただいた皆さまには、心から感謝申し上げます。おかげさまで、無事に終わることができました。ありがとうございました。

アンケートより

- ・愛する家族を亡くし、残された者は、ぬぐいきれない自責の念を持ってしまいます。あの時、もっとできたのではないかと。私も主人を病気で亡くし、この思いから立ち上がるのに時間がかかりました。でも、今、こうして生きています。そこに生きている意味があるんだ。生き続けることを主人も望んでいるんだと感じることができたひとときでした。
- ・先日の列車事故を思い出しました。生き残った方も傷を心に残され、克服するには時間がかかるのですね。心に問題提起のひとつを残す映画でした。
- ・日常に流された生活の中で、ひととき、深く考えさせられる時間を与えていただきありがとうございました。
- ・原爆のおそろしさを、あらためて認識しました。
- ・涙がとまりませんでした。被爆者の思い、無念さ、二度と核兵器を使わせてはいけない。
- ・平和を守るたいせつさを感じた。
- ・戦争は何一つ幸せをもたらさない。何年たっても世界が平和でありますように。

- ・悲しかったですよ。じーとききました。
- ・久々に感動に釘付けになりました。
- ・良いと聞いていたが、やっぱり良かった。宮沢りえさんの演技に感動した。
- ・内容が少し暗すぎる。
- ・楽しい映画もみたい。
- ・古い映画でよいかから、良い映画を安い料金でお願いします。
- ・ときどき、オープンの上映会があると友人とか誘いやすいですね。
- ・できれば今後も大きなスクリーンでみたいと思います。
- ・今後とも市民会館で上映してほしい。
- ・もっともっと、いい映画をみせてくださいますようお願いいたします。



3周年記念上映会会場のようす

また、6月22日(火)に加古川総合文化センターで行われた「隠し剣鬼の爪」の上映会(兵庫県映画センター主催)に協力しました。山田洋次監督の時代劇で、約320人の来場がありました。

東北の庄内地方の藩を舞台に描かれたこの作品を観て、山形県出身の方が、「庄内弁を懐かしかった。」と感想を漏らすなど、観た人それぞれが、映画を楽しんでいました。

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200～300字程度にまとめていただければ、助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

**加古川シネマクラブ** 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 197人(5月10日現在)